



2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.1
OKAYAMA GT 300km RACE

RACE REPORT
UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.1 OKAYAMA GT 300km RACE

RACE REPORT
UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

大会概要

- 大会名称：2026 AUTOBACS SUPER GT Round1 OKAYAMA GT 300km RACE
- 開催日：2026年4月11日（土）・4月12日（日）
- 会場：岡山国際サーキット（岡山県美作市滝宮1210）
- 開催レース：SUPER GT Rd.1
- 主催：株式会社 岡山国際サーキット、アイダクラブ（AC）
- 認定：株式会社GTアソシエーション
- 公認：国際自動車連盟（FIA）、一般社団法人 日本自動車連盟（JAF）
- 後援：岡山県、美作市、岡山観光連盟、美作国観光連盟、岡山県経済団体連絡協議会、一般社団法人岡山県商工会議所連合会、岡山県経営者協会、一般社団法人岡山経済同友会、岡山県中小企業団体中央会、岡山県商工会連合会、山陽新聞社



2026 AUTOBACS SUPER GT ROUND 1
OKAYAMA GT 300KM RACE

4.11 予選 4.12 決勝
8,800円
岡山国際サーキット
Lコード: 67941

SUPER GT 第1戦 岡山 特設ウェブサイト
https://www.super-gt.com/





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.1 OKAYAMA GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆ 参戦体制

■ ドライバー



片山 義章
YOSHIAKI KATAYAMA

生年月日 1993年11月13日
出身地 愛知県
身長 168cm
体重 69.3kg
血液型 RH+ O



ニクラス クルッテン
NIKLAS KRUETTEN

生年月日 2002年10月20日
出身地 ドイツ
身長 180cm
体重 78kg
血液型 RH+A

■ チーム体制

チーム名： VELOREX
車両名： UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3
カーナンバー： 6
タイヤ： 横浜ゴム株式会社
ドライバー： 片山 義章 / ニクラス・クルッテン
エントラント代表： 片山 義章
チーム監督： 小倉 啓悟
広報兼マネージャー： 塩田 裕子
レースアンバサダー： ENA・YUYU
AIKA (VELOREX アンバサダー)
※ENAはRd.1のみ/AIKAはRd.2以降の参加

■ レースアンバサダー



ENA (Rd.1のみ参加)
(VELOREX アンバサダー from CYBERJAPN)



YUYU





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.1 OKAYAMA GT 300km RACE

RACE REPORT
UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆ 予 選

天候 晴れ
コース状況 ドライ
気温 25°C (GT300クラスQ1開始時)
路面温度 34°C (GT300クラスQ1開始時)
予選開始 14時00分 (GT300クラスQ1-A組開始)



シリーズタイトル獲得を目標に、新体制で挑むVELOREX

Team LeMansは昨年度より正式にエントラント名をVELOREX に変更し、昨年引き続き、FERRARI 296 GT3を投入してSUPER GT GT300クラスに参戦する。同クラス参戦6年目となる今シーズンは、昨年に引き続きマシン名を「UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI」とした。また2026年シーズンは、チームブランド

『VELOREX』のロゴもよりスピード感とエッジを感じさせる新たなブランドロゴへと刷新。一方、ドライバーに関しては第1ドライバー片山義章を継続し、第2ドライバーにドイツ出身のニクラス・クルッテン選手を新たに起用。フレッシュなペアで今シーズンに挑む。エンジニアリング体制もより強化を図り、若手メカニックの登用や経験豊富なマネージャーの加入で勝利を目指すためのアグレッシブかつ細やかな体制を構築。片山義章がエントラント代表も兼任し、2025シーズンを上回る活躍を目指す。タイヤは、これまでどおりヨコハマタイヤを装着する。

今シーズンのSUPER GTでは、予選方式は昨年同様のノックアウト方式が採用され、GT300クラスの予選はグループA、グループBの2組にわけられ10分間で予選Q1が実施される。予選Q2へは各組それぞれ上位9台が進出となり、合計18台での予選Q2に挑む。予選順位はQ2のタイム順で決定され、19位以下はQ1で最も速いタイムを出した組の10番手が予選19位となり、以降遅い方の組の上位と交互に順位が振り分けられる。またGT300クラスは29台が参加する激戦となるため、昨年よりポイント獲得可能な順位を15位までと拡大。一方でトップ10までのポイントは1位25ポイントにはじまり、それぞれ一昨年より5ポイント増となった。それにより、これまでも増して10位から15、16位の争いが激しいものとなる。なお、ポールポジションにも1点が与えられる。GT300クラスは高得点順に7戦の合計でタイトルが決定される。(マレーシア大会延期のため、今年は全戦加算)

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI

予選結果：4位 (予選Q1: 9位 / ニクラス選手：1分26秒464 / 予選Q2：4位 / 片山選手：1分25秒255)

予選日は好天に恵まれ、事前に開催された公式テストの時とは気温、路面温度が大幅に上昇する状況の中、9時30分からSUPER GT第1戦の公式練習がスタートした。VELOREXは事前に開催された岡山公式テスト、富士公式テストで十分な手応えを掴んでいたが、コンディションの変化に対して、チームはセットアップに余念が無い。

午前中の公式練習では路面状況の問題か、アンダーステアが強いなか46周をこなして16番手タイムをマーク。午後の予選までに更なるセットアップ変更を施して臨むこととなった。午後の予選は14時00分から始まり、UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIはQ1グループAにニクラスが出走。アンダーステアが強かった公式練習から細かくセットアップを変更し、4周目に1分26秒484をマーク。Q1予選A組の9番手タイムで予選Q2への進出を決めた。15時14分からのQ2では、片山が4周目に1分25秒255をマーク。予選順位は4番手となり、決勝は2列目スタートとなった。





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.1

OKAYAMA GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆ 決 勝

天候	晴れ
コース状況	ドライ
気温	24℃（スタート時）
路面温度	39℃（スタート時）
決勝レース開始	13時20分 （正式スタート時刻 13時25分23秒）
レース予定走行距離	300 K M 82周 （正式フィニッシュ時刻 15時20分02秒）



予想外の苦戦を乗り越え、9位完走で緒戦から7ポイントを獲得。

決勝日となった4月12日は朝から汗ばむほどの快晴に恵まれ、前年度の14500人を大きく上回る16500人もの観客が岡山国際サーキットに詰めかけた。

11時50分から20分間のフリー走行ではふたりのドライバーが交互にマシンへと乗り込み合計13周をこなして1分27秒473をマーク。タイム的には10番手にとどまったが、最終的なセットアップの方向性は確認することができ、チームとしては万全な態勢で決勝レースへと臨むこととなった。

交通機動隊を先導としたパレードラップを含め、2周のフォーメーションラップの後、午後1時20分、300km、82周レースが幕を開けた。4番手グリッドからスタートした片山は、いつもどおりの好スタートで前車をパスしようと試みたがポジションキープで4番手のまま序盤のトップグループを形成する。

しかしストレートに伸びが無く、次第に後方マシンから追い上げられ、それを巧みにブロックしながら周回を続ける厳しい展開となってしまふ。しかし4周目のヘアピン進入で後続車にアウトから並ばれ、次のコーナーの進入でインを奪われ5番手へとドロップ。それでも食い下がりながら周回を続け、30周を終えた段階でニクラスへとドライバー交代。ピット作業で多少のタイムロスがあり、19番手でレースに復帰することとなった。タイヤが温まる間に1台にパスされたニクラスだったが、その後はアグレッシブな走りで追い上げ、34周目に17番手、35周目に16番手、36周目に15番手、37周目に13番手と毎周のようにポジションをアップ。44周目には10番手へと浮上し、全車がピット作業を終えた53周目には9番手でさらに前に行く3台と激しいポジション争いを展開する。

コーナーごとに激しい攻防を見せたニクラスだったが、最後まで前車を抜くには至らずそのまま9位でチェッカーを受けた。厳しいレース展開ではあったものの、VELOREXはシーズン緒戦で貴重な7ポイントを獲得することができた。

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI（片山選手&ニクラス選手）

決勝結果：9位





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.1

OKAYAMA GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆コメント

片山 義章 選手のコメント



今年はドライバーとしてだけではなく、エントラント代表としてチーム全体を俯瞰していく立場を任されました。その責任をしっかりと感じながら2026年の開幕戦を迎えました。

新しくチームメイトとなったニクラスは、前任者ほどのアグレッシブさは無いものの、安定した走りでチームに貢献してくれています。

予選では昨年自分がQ1でトップタイムをマークしたこともあって自信があったので、Q2を走りたいと希望し、小倉監督も僕を信じて任してくれました。Q1をニクラスがなんとか突破してくれ、良いフィードバックをくれたことで予選Q2では満足できる結果が残せたと思います。決勝レースはスタートこそ良かったものの、ストレートの伸びがいまひとつで防戦一方の厳しいレースとなってしまいました。

でもそんな中でミスすることなく最後まで走り切り、9位完走。チームとして新体制で迎えた緒戦で7ポイントを獲得できたことは、とても良かったと思っています。

ニクラス・クルッテン選手のコメント



自分にとって、新しいチーム、新しいマシンで迎えたスーパーGT開幕戦でしたが、チームは本当にとても素晴らしい仕事をしてくれたと思います。公式練習からフロントのグリップ不足でアンダーステア傾向が出ていたのですが、なんとか予選までにアジャストしたつもりでした。

しかし路面コンディションの変化からか、予選ではまた強いアンダーステアが出てしまったので、それに合わせた走りでなんとかQ1突破はできましたが、その状況をエンジニアに伝え、片山さんが走る前にセッティングを変更し、それが当たったことで、チームにも貢献できたと思っています。決勝レースは厳しい戦いでしたが、スーパーGTの楽しさを十分に味わえたバトルでしたし、ミッドシブレイアウトのマシンにも次第に慣れて自信を持って攻め込むことができるようになりました。次の富士はテストでも好調でしたし、チームは昨年優勝を飾っているサーキットです。優勝を狙って頑張ります。

小倉 啓悟 監督コメント



予選、決勝を通じて大きなトラブルもなく、チーム全体でプラン通りに運べた週末でした。予選前に片山義章選手がQ2アタッカーをやりたいと申し出てくれましたが、自分も昨年の活躍を覚えていましたし、彼が一発を決めてくれればチーム全体の士気が上がると思って快諾しました。有言実行で、期待どおりのパフォーマンスを発揮してくれたのは嬉しかったです。

Q1からQ2への短い時間でニクラス・クルッテン選手のフィードバックからマシンをアジャストしてくれたエンジニアたちも素晴らしい仕事をしてくれたと思います。

決勝レースは思い通りとはいかなかったですが、ライバルたちがタイヤ無交換や後輪のみ交換という戦略を取ってきて、それが成功した分、うちがポジションを失ったという感じです。あの路面温度では厳しい戦略だとは思いましたが、ライバルたちがそれを成功させてきたのも事実ですので、次のレースに向けて自分たちに何が可能かを再検証して、勝利を狙います。





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.1 OKAYAMA GT 300km RACE

RACE REPORT
UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

UNI-ROBO

BLUEGRASS

WestCore

OIRC

ニチアス

TONE



zahren

MIDTOWN BBQ
STEAK & SMOKEHOUSE

EVER
CORPORATION

DOBOT

SEIHA



カトー機械株式会社

オカダキンジ

ヒロ デンタル クリニック

CLIMAX
SOFT99 autoservice

ASAHI 朝日金属株式会社



AOYAMA
ELEVATOR

中部総合監査法人

SANDISK™

AOI
TRUST
Co., Ltd.

MAITY



H&F

K KANETAKE

森吉物流グループ

JOTO DIRECT

慶知電線株式会社

見田工作

H&A
Human & ARTS

SASAHARA

4EAST

Digi-Tec
INTECNO

株式会社プロデュース

KOWA
株式会社 興和設備

TAKSEIDOBOKU Co., Ltd.

三浦電気株式会社
株式会社ナガラ
ホリオ工業株式会社
有限会社ます徳
東急建設株式会社
株式会社フクヤマ
有限会社野田商店
株式会社ウツノ
トーカイテクニカ株式会社
有限会社アイビー産業
大成ロテック株式会社
株式会社山陽セフティ
株式会社オーアンドケー
中部焼結販売株式会社
森工業株式会社
旭テクノプラント株式会社
山陽事務機株式会社
有限会社源森
株式会社キャムテック
有限会社満成鉄工所
旭日株式会社
トヨコンロジスティクス株式会社
浅野産業株式会社
株式会社トラストワーク
鍛冶島工業株式会社
株式会社モダン・プロ

株式会社みずしまモータース
株式会社SANWA
有限会社国司電器
田淵塗装
めぐみファーム
株式會社カンガイ
株式会社永遠輪
株式会社大下商店
永井建設株式会社

